



**どんな「人」に
なりたいか、を
考えさせよう**

塩見小学校 校長
東村 真一

「プロサッカー選手」「パティシエ」
「看護師」：子ども達に「将来の
夢」を問うと、ほとんどが「職業」

を答えます。もちろん素晴らしい目
標です。しかしながら、私はこうい
った直線的な子ども達の思考に少し寂
しさを感じます。

教育の目的である「人格の完成を
目指し社会の形成者として育成す
る」ことに鑑み、職業選択がゴールな
のではなく、「どんな大人になつて、ど
う生きていくのか」が人のゴールなの
だということ、先ず子ども達に
しっかりと理解させるキャリア教育
指導でありたいものです。「みんなの
役に立つ人になりたいなあ。自分の
することみんなが喜んでくれるよ
うな、そんな仕事を見つけたいなあ」
：冒頭の問いに対してこのような答
え方のできる小学生を、キャリア教
育支援センターのお力を借りながら
育成したいと考えています。



**「キャリア教育は
死ぬまで続く」**

日向中学校 校長
日高 俊一郎

キャリア教育はよく「生き方教
育」と言われます。決して、進学
指導や進路指導、職業指導ではあ
りません。これらは手段であつて

目的ではないのです。キャリア教
育の目的は、キャリア発達を促す
ことです。では、キャリア発達は
何かと言うと「社会の中で自分の
役割を果たしながら、自分らしい
生き方を実現していく過程」です。
自分らしい生き方をするための手
立てとして、「学ぶこと」や「働く
こと」があるのだと思います。私
も定年まで後5年、この仕事を退
いた後も「社会にどう関わって行
こうか」「どうやって私らしい生き
方をしようか」と悩んでいます。
人は社会的に動物だと言われま
す。社会に関わるからこそ個々の
「良さ」や「らしさ」が顕在化す
るのだと思います。キャリア教育
にゴールはありません。まさに
「キャリア教育は死ぬまで続く」
です。



**学校を核にした
地域づくり**

日向市キャリア教育支援センター長
水永 正憲

社会にはたくさん職業があり
ます。そして、世の中では様々な大
人たちが、実にいろいろな仕事をし

ています。そんな様々な働く大人、
今はもう第一線を退いた大人が、
語ってくれる「働く喜びと苦労」の
物語を聞いて、子供たちはきっと自
信を持ってくれるに違いないと思
います。そして、それ以上に大切なこ
とは、地域の大人たちが学校に出
向いて行くことで、大人たち同士
関わり合いが生まれてくるに違
いないということです。

地域のすべての人々が、「学校」に
気軽に集い合い、子供たちと関わ
たり、先生方と触れ合ったり、地域の
大人同士で語り合ったりできるよ
うなることを夢見ています。

「学校」を核にして、地域の人々が
交じり合い、「自分とは違う隣人の抱
える問題をお互いに思いやる」よ
うな地域こそが、今もつとも求められ
ていると思うからです。



失敗したっていいんだよ

ひゅうがりサイクルセンター
川崎 修

「失敗はたくさんしたほうが良
い！失敗はなにか行動をしたから
失敗するのであつて、なにも行動
しなければ、失敗も成功もない！

いちばんいけないのは行動しない
ことだよ」

私がある中学校でサラッとと言
つた一言です。本当は別のメッセー
ジが伝わってほしかったのです
が、後のアンケートで子供たちに
最も受け入れられたメッセージで
した。失敗すると怒られる…。そ
んな思いが子供たちを支配してい
ると感じました。100%の完璧
な人なんてどこにもいません。プ
ロ野球だって3割打者強打者で
しょ？7割は失敗しているんで
す。もちろん100%を目指して
努力します…。失敗したっていい
んだよ。

失敗しても、前向きに頑張れる
そんな子供たちの成長を期待して
います。

第10回 よのなか先生研修会のおしらせ

- 日時 2016年2月15日(月) 18時00分～19時00分
終了後「懇親会」を行う予定です。
- 会場 日向商工会議所 1F多目的ホール

- 内容
よのなか先生の事例発表 ならびに 意見交換
- 山本 恵子さん(栄興自動車販売(有))
- 税田 和久さん(グローバル・クリーン(株))



